

みらいの可能性を拓くサードプレイス 「みらい家庭科ラボ」

みらい家庭科ラボ 共同代表 布村沢子・木村裕美

1. 「みらい家庭科ラボ」とは

家庭科教育に携わる先生方のサードプレイスとして、元家庭科教師が2022年11月に立ち上げたグループです。在職中、全く異なるキャリアを歩んだ二人のスタッフで現在運営しています。25年以上の教師経験を通して培った「ノウハウ」や「スキル」を、今の時代に合わせた形でご活用いただければと「ラボ」を設立しました。現在は、家庭科の先生方向けに仕事やキャリアアップに役立つ「場づくり」「情報の発信・共有」等の活動を展開しています。

2. 「みらい家庭科ラボ」の始まり

家庭科教師として理想的な働き方ができていますか？

「みらい家庭科ラボ」は「仕事の理想と現実のギャップ」の狭間で悩み、学校を退職した二人の教師があるオンラインイベントで出会ったことから始まりました。

在職中、二人はそれぞれの学校で熱意を持って家庭科に取り組み、自分の理想に向かって邁進していました。さらに、職場以外の学びの場に出かけ、多様な価値にふれる事で成長を実感していきます。そして、様々な人々との交流の中で、家庭科に対する高い評価を受ける経験を重ねることになりました。

家庭科は激変する時代にこそ必要な科目であり、正解のない時代においては未来を担う人を育てる教科だと考えています。学びの場で出会った人々からの家庭科への期待は、私たちの立ち位置を再考するきっかけとなりましたし、コロナ禍において家庭科教育での枠組みが変化したことも加わり、教師として築いてきたスキルや知識を、学校以外の場で試したいとの思いが芽生え、新たな挑戦を決意しました。

新しい自由な立場で社会のリアルな側面を知る過程で、出会ったばかりの二人は家庭科教師としての人生について語り合いました。そこで再確認された

のは、家庭科の魅力や家庭科が持つ素晴らしい可能性でした。同時にこれまでの経験から、家庭科の意義や役割が理解されにくい状況や家庭科教師としての不安定な立ち位置も様々な思いと共に脳裏に浮かんできました。

さらに学校の外から家庭科教育の現状を見ると、コロナ禍で奮闘する先生たちの姿が見えてきました。そして、学校を離れて家庭科の価値や可能性を再認識した私たちだからこそ、家庭科に対する新たな価値づけや可能性を切り拓くことができるのではないかという思いが沸き起こり、「みらい家庭科ラボ」の誕生へと繋がることとなりました。

3. みらい家庭科ラボのビジョン

家庭科教師として心豊かな充実した日々を過ごせていますか？

今、仕事や人生に迷いや不安を感じていたとしたら「みらい家庭科ラボ」を覗いてみてください。「ラボ」は先生方が必要な時にサポートが受けられるように、情報やヒントを提供していきます。「ラボ」のビジョンは「大きな木」をモチーフにした「ロゴ」で表現しており、この木は家庭科の先生方のための「3つの場」を表しています。



- ①先生が安心して集える場
- ②先生や生徒達がともに力強く成長できる場
- ③先生がゆったりとくつろげる場

「ラボ」は先生方の仕事への想いを応援し「共に育むみらいの家庭科」をビジョンに掲げ活動しています。

家庭科は、生活に根ざした「体験的学びや探究的学び」を通して人間関係の構築や経済の計画など「生きる力」を育て、他教科の学びを束ねる要ともなる重要な科目です。ただ、社会においては家庭科に対して「受験に関係のない教科」「料理・裁縫などの生活技術を身に付ける実習教科」といったイメージが未だに浸透しているように感じております

表1 SNSでの発信

SNSの種類	内容
YouTube〈動画〉 「おしゃべり家庭科室」	授業や実習のアイデアやヒント 教材情報やツールのシェア
stand.fm〈音声配信〉 「おしゃべり家庭科 room」	旬の家庭科関連の話題や家庭科の魅力、授業 展開のアイデアや先生方へのエールなど
note	中学・高校での家庭科実践例の紹介など

SNSまとめサイトのQR



が、「ラボ」ではそのような状況を変化させていくためにも、次のような目的での活動を進めています。

- 1) 家庭科教育の可能性を探り家庭科の魅力を発信し、家庭科の必要性がさらに認知されるようにしていく。
- 2) 家庭科教育を通して、生徒たちが未来に希望を持ち時代を生き抜く力を身に付けられるような教育を探究していく。
- 3) 家庭科の先生の未来のために家庭科を生涯学習へと繋げ、退職後も活躍出来る場として社会のニーズに合った「大人の学びの場」を創出していく。

4. これまでの取り組み

(1) オンラインイベントの主催

①アップデートセミナー：セミナーでは『食のプロから学ぶ「これからの調理実習のアイデア』』などをテーマに、特別講師の講義やスタッフの実践事例のシェア、参加者全員でのディスカッション等を実施しました。ご参加の先生方が互いの情報を共有し、授業や仕事に活かせるヒントを出し合い、地域や校種を超えた交流の場としてご活用いただきました。セミナーの一部は、動画で観ることができますので、宜しければご覧ください。

②オンラインカフェの開催：先生方が気軽に参加し、おしゃべりできる場として「オンラインカフェ」を開催しました。カフェへの申し込み延べ人数は約80名。家庭科の授業や働き方などについての意見交換の場としてご活用いただきました。カフェについての感想はWEBサイトでご覧いただけます。

(2) LINE グループの作成

家庭科の授業に役立つ教材や情報などの共有を目的にLINEグループを作成し、メッセージを配信しています。登録をご希望される方は、



こちらのQRコードからお願い致します。

(3) 家庭科関連情報の発信

①WEBサイト：「みらい家庭科ラボ」の総合サイトです。

授業のアイデアや教材のヒントなど仕事に役立つ内容や、家庭科内緒話も掲載しています。ぜひ、ご活用ください。



②SNSでの発信：表1のような家庭科関連の情報を発信しています。

(4) 家庭科教員対象研修会

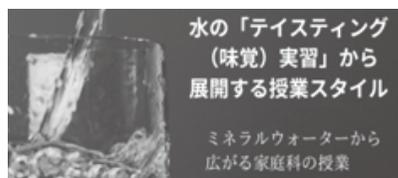
2023年に2つの地区の公立高校の家庭科の先生方を対象に、「ワークショップ型授業の提案」をテーマとして教員研修を実施しました。実践例の紹介にICTツールの活用アイデアも加え、ワークを中心にして実施しました。詳細はWEBサイトをご参照ください。

(5) 新しい授業スタイルの提案

「みらい家庭科ラボ」のスタッフが企画・実践したワークショップ型授業を提案しました。この授業の特徴は次の3つです。

- ・先生方の準備や片付けなどの負担の軽減
- ・生徒達の意欲的な取り組みの促し
- ・生徒達の日々の暮らしの探究へのつながり

これらは、仕事の効率化と教育的効果の高さ、展開の多様化に配慮した内容です。2023年は「水」をテーマにした授業をスタッフが実践し、詳細をまとめた記録を公開しています。授業に使えるプリント原稿もダウンロードできますのでWEBサイトをご参照ください。



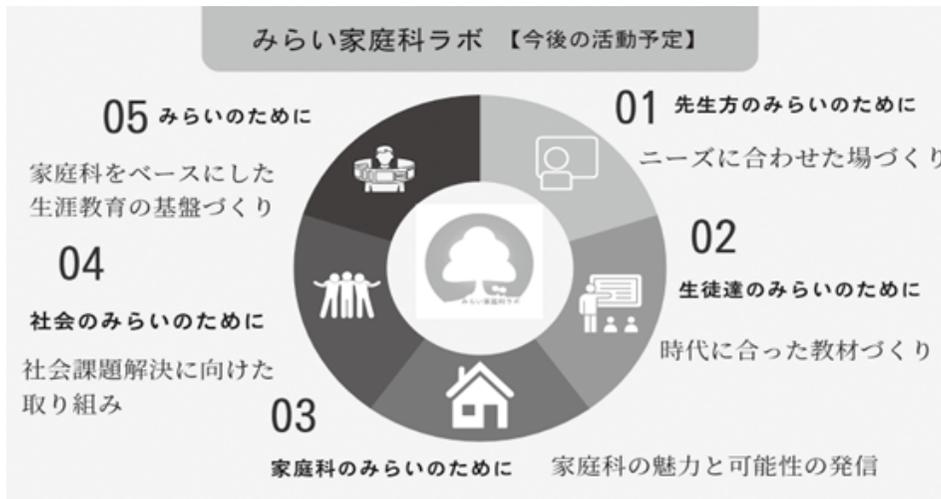


図 1

(6) 書籍の編集及び教材作成協力

「みらい家庭科ラボ」のスタッフ木村が編集協力した「16歳からのライフシフト」が出版されました。

出版社のサイトで紹介している学習指導案や教材などを「みらい家庭科ラボ」で作成しました（学習指導案や授業プリント等がサイトからダウンロード可能です）。

5. 今後の取り組み

「みらい家庭科ラボ」では、家庭科の仕事の舞台裏に光を当て、先生方が心ゆくまで語り合い、思いや考えなどを共有できる場を提供していきたいと考えています。さらに、グループ名の〈ラボ：実験室〉が表すように、家庭科教育に関わる方やコミュニティのみらいのために、図1のような取り組みをしていく予定です。

1) 先生方のために

「安心出来る」「心が軽くなる」「前向きになれる」をキーワードとして「豊かに生きる」「共に創る」をテーマにして、先生方のニーズに合わせて気軽にご参加いただける場づくりをめざしていきます。

2) 生徒達のために

「正解のない時代」を生き抜く力を育めるように、外部の人脈や経験を活用し、時代に合った教材づくりをしていく予定です。家庭科教育の一助となる新たなアプローチやイノベーションへのアイデアを発想し、提案していきたいと考えています。先生

方の独自の実践やアイデアを生み出すヒントとしてご活用いただければ幸いです。

3) 家庭科のために

家庭科の存在意義や社会で果たす役割を多くの人に認知してもらえるように、SNS等を活用した発信を続けていく予定です。

4) 社会のために

心豊かな Well-being な社会の実現、急務とされるサステイナブルな暮らしへの移行、サーキュラーエコノミー（循環型経済）や、その先のリジェネラティブ（再生させる/環境再生）などを考慮した消費行動など、家庭科で扱える社会課題は多岐にわたります。家庭科は生活者の視点で課題に取り組めるという意味で社会課題の解決の基盤となりうる科目です。「みらい家庭科ラボ」では“情報提供”や社会課題を取り入れた“新しいスタイルの授業の提案”などを通して、生徒達がこれから生きていく社会をより良いものにしていくために活動していく予定です。

5) みらいのために

2025年問題が目前に迫り生涯教育が不可欠とされる中、誰もが「自立して生きていく知識とスキル」を身に付ける事が必須の時代です。家庭科はその「自立」の育成に最適な教科です。「ラボ」では「家庭科」をベースにした「生涯教育」の基盤づくり、誰もが豊かに暮らせるみらいの社会づくりに貢献したいと考えています。

【サードプレイスへのご案内】

みらい家庭科ラボが先生方のために開催する場（イベント）はPeatixのイベントページでご案内する予定です。

QRコード⇒



現在、学校でご活躍されている先生方にも退職する日がきます。学校を退職した後も、数十年の人生が続いていきます。私達「ラボ」のスタッフは、定年退職を待たずに途中で家庭科教師のキャリアを離れました。そしてシビアな社会の現実を知り、「教師」という立場がいかに守られ、いろいろなことができた環境だったかを痛感しました。今も社会の荒波に揉まれておりますが、一旦リタイアしたことを後悔はしていません。なぜなら、新しい世界に足を踏み入れたことで教師時代に経験することのなかった未知の世界に挑戦する喜びや、自分の可能性の広

がりを実感し、様々な経験ができたからです。この経験はまさしく「ライフシフト」。教師時代のキャリアの積み方や生き方が、その後の人生を大きく左右する事も身をもって知りました。

この私達スタッフの経験から生み出されるものが家庭科の先生方のお役に立つとしたら、こんなに嬉しいことはありません。「ラボ」は2024年4月から活動の形を変え、さらにより広がりのある視野で家庭科を捉え、自分達に出来ることを考え実践し、家庭科の発展に貢献したいと考えています。

先生方が先ずはご自分を大切に、さらに家庭科を楽しみ、活き活きと仕事をする事ができたら、その姿を通して生徒は自分のこれからの人生にきっと明るい希望を見出してくれることでしょう。

さあ、家庭科のみらいを一緒に創っていきませんか？

令和7年度用 実教出版の家庭科教科書

文部科学省検定済み教科書

7実教 家基 705
家庭基礎 気づく力 築く未来
AB判/カラー 258 ページ

7実教 家庭 703
フードデザイン
AB判/カラー 246 ページ

7実教 家基 706
Agenda 家庭基礎
B5判/カラー 216 ページ

7実教 家庭 707
保育基礎
B5判/カラー 170 ページ

7実教 家基 707
図説家庭基礎
AB判/カラー 238 ページ

7実教 家庭 705
ファッション造形基礎
B5判/218 ページ

7実教 家総 703
家庭総合
AB判/カラー 282 ページ

7実教 家庭 704
生活産業情報
B5判/170 ページ

文部科学省著作教科書

7実教 家庭 701
ファッションデザイン
B5判/256 ページ

7実教 家庭 709
保育実践
B5判/98 ページ

7実教 家庭 708
消費生活
B5判/176 ページ

7実教 家庭 710
服飾文化
B5判/196 ページ

© 編修・発行 実教出版株式会社 代表者 小田良次

通巻 87号
2024年4月1日発行

発行所 〒102-8377 東京都千代田区五番町5
TEL. 03-3238-7777 <https://www.jikkyo.co.jp/>